

平成30年 9月 5日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス  
代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢  
(コード2388 東証 J A S D A Q市場)  
問合せ先 開示担当 小竹 康博  
(TEL 03-6225-2207)

### 「2018 モンゴル草原マラソン - ボグドハン ウルトラトレイル50km」が開催されました

当社（本社：日本国東京都中央区、代表取締役社長兼CEO：此下竜矢）の親会社である昭和ホールディングス株式会社がスポンサーしました「2018 モンゴル国際草原マラソン - ボグドハン ウルトラトレイル50km」が、2018年8月19日にモンゴル国で開催されました。当日は天候にも恵まれ、23年目を迎えます草原マラソン3～21kmの部に約400名、今年から新設されたボグドハン ウルトラトレイル50kmの部には60名以上のランナーが参加し、爽やかなモンゴルの草原を堪能しつつ、ランニングを楽しみました。

長年、エンターテインメント業界に関わる当社としては、国際マラソン大会という一大エンターテインメントイベントを盛り上げるため、これまでに蓄積したノウハウを活かして運営サポートやプロモーション活動（※1）を行いました。

また、モンゴル人気ナンバーワンのコンテンツ『ボンバルダイ』をアジアに広めるため、コラボレーションを実施（※2）。日本をはじめとするアジア中でプロモーションを展開しました。

#### ※1：プロアスリートのキャロル・フークス氏によるコースディレクション

当社が活動をサポートしている登山家でプロアスリートのキャロル・フークス氏に、本大会より新設いたしました「ボグドハン ウルトラトレイル50km」のコースディレクションを務めていただきました。（同氏は2017年にマナスル、2018年にエベレストに登頂成功。またトレイルランナーとして各地で優勝しており、これらの活動をグループとしてサポートしております）

参加者からはモンゴルの雄大な自然を楽しめるコースだったと好評をいただきました。また、キャロル氏をコアに多くのアスリートの方々とつながり、「ランニングファンコミュニティ」を形成することができました。当社は「スポーツ」を一つのエンターテインメント・コンテンツとして捉え、「リアル」と「バーチャル」のコンテンツとして考えております。今回の大会はその良い嚆矢となったと考えております。





※2：『ボンバルダイ』とのコラボレーション

大会ロゴ、スタート、ゴール地点、コース案内、完走メダルなどにボンバルダイのイラストを使い、大会を彩りました。

コンテンツ『ボンバルダイ』は、当社と専属マネジメント契約を締結しているナンバラル・エレデネバヤル先生の代表作。作中では自然を愛し、共に生きていくために語り継がれている遊牧民の文化や知恵が描かれています。その主人公である少年・ボンバルダイは、モンゴルの大草原を舞台とした本大会のマスコットとして最適だと考え、起用しております。



←大会ロゴは、モンゴルを代表する漫画作家であるナンバラル・エレデネバヤル先生にデザインしていただきました。

そのほかにも多くの著名人にご協力いただき、大会を大いに盛り上げていただきました。

■ご協力いただいた著名人

キャロル・フークス



登山家で、プロアスリート。今回のボグドハンウルトラトレイル50kmのコースディレクターを務める。

吉野 剛



「裸足王子」と呼ばれる裸足ランニングの第一人者。草原マラソンを裸足で走る裸足アワード部門をプロデュース。

<p>中村 友梨香</p> 	<p>2008年北京オリンピック女子マラソン日本代表選手。草原マラソン10kmの部に参加し、ランニングの楽しさを伝える。</p>	<p>荒木 宏太</p>  <p>「2018年 越後カントリートレイル」一般の部男子優勝者。今大会に招待選手として参加。ボグドハン ウルトラトレイル50kmの部で優勝。</p>
<p>ナンバルル・エレデネバヤル</p> 	<p>モンゴルの漫画家。代表作『ボンバルダイ』は、「第8回 国際漫画賞」で最優秀賞を受賞。今大会のロゴデザインを手掛ける。</p>	

■イベント概要

名 称：2018 モンゴル国際草原マラソン - ボグドハン ウルトラトレイル50km  
 日 時：2018年8月19日（日）  
 会 場：ウランバートル近郊の大草原とボグドハン山周辺（モンゴル国）

投稿



←↑本大会での様子はモンゴルの国内メディア「Ikon News」で取り上げられたほか、Facebook上で此下CEOが草原に捨てられたペットボトルを拾いながら走ったことがモンゴルで話題になっております。

本大会は、コンテンツ事業を行う当社にとって以下のような意味がありました。

- 1、モンゴル最高のコンテンツ『ボンバルダイ』獲得と展開
- 2、『ボンバルダイ』と「トレイルラン」をアジアと日本で展開
- 3、エンタメとしてのランニングファンコミュニティとのつながり

これらは当社が2018年6月に発表いたしました「5カ年事業計画アクセルプラン3」に基づくものです。アクセルプランの関連する箇所は以下の通りです。

### 1、コンテンツ・プロデュース (P8)

コンテンツ事業はコンテンツホルダーとのつながりを活かして、コンテンツ獲得、そして編集企画展開を重要課題としております。

モンゴル最高の漫画家であり、当社と専属契約を結んでおりますナンバルル・エレデネバヤル氏の作品『ボンバルダイ』が今回の大会のマスコットキャラクターとなりました。スタート・ゴールに加え、コース上の標識、完走メダルなどに『ボンバルダイ』が使われています。

『ボンバルダイ』は遊牧民の男の子が、モンゴルの大自然と自然を愛するモンゴル人の文化を一つ一つ体現して行く長編ストーリーになります。モンゴルでのトレイルランニングにまさにふさわしいキャラクターです。『ボンバルダイ』とトレイルランニングをモンゴルの大草原で融合させる企画リアルイベントとなりました。

### 2、アジア展開 (P9)

コンテンツ事業は発見獲得したアジアコンテンツを日本へ、日本コンテンツをアジア全域へ展開することを目指しています。今回は、当該イベントを通じ7ヵ国、400名（モンゴル人約300名）の参加者を得ており、今後のアジア展開力を強化することができました。

特に今回は SNS での展開を重視しており、すでに来年に向けての取り組みが進んでいます。

<https://www.facebook.com/MSUT.Official/>

### 3、エンタメコミュニティプラットフォーム戦略 (P10)

コンテンツ事業においては、コミュニティオリエンテッドな展開を目指しております。そのためエンタメコミュニティとのつながりを重視し、コミュニティの形成やコミュニティへのエンターテイメントの提供を目指しております。また「世界の時間をワクドキで埋め尽くす」というミッションに従い、そのミッションに資するものはなんでも、マンガ・アニメ・ゲームなどだけでなくスポーツやアスリートもエンターテイメントの一つだと考えております。

今回はその中でもランニングや登山のコミュニティの方と多くのつながりをいただきました。そこに、特別な風景と風を感じられるこの大会を提供することでリアルにイベントを行ってユーザーとつながり、ユーザーを熱くすることができたと考えております。

このようなコンテンツの展開を、今後もアジア中で行うことを企図しており、今回の大会はその実現であり、また当社の実行力を強化する良い取り組みとなりました。

今後のコンテンツ事業としては、今回の「モンゴル国際草原マラソン」のように、

- ・アジア各国の文化や人々を尊重し、
- ・良質なエンタメコンテンツを良質な方法で提供し、
- ・アジアのクリエイターやアスリートと協調しながら、
- ・アジア全体にエンタメファンとコンテンツ熱を拡大していく

そのような取り組みを積極的に企画し、展開していくことを続けていきたいと考えております。

#### ■ 「5カ年事業計画アクセルプラン3」

[http://www.wedge-hd.com/cms\\_v2/assets/files/IR/NEWS/2018/i20180627.pdf](http://www.wedge-hd.com/cms_v2/assets/files/IR/NEWS/2018/i20180627.pdf)



■大会オフィシャルWEBサイト

<https://msut.run/>

■大会公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/MSUT.Official/>

また、本大会での様子はモンゴルの国内メディア「Ikon News」で取り上げられたほか、Facebook上で此下CEOが草原に捨てられたペットボトルを拾いながら走ったことがモンゴルで話題になっております。

■Ikon News

<https://www.facebook.com/iKonNews/videos/274520570029648/>

<https://www.facebook.com/iKonNews/videos/469378506908867/>

<https://www.facebook.com/iKonNews/videos/1994935423901335/>

<https://ikon.mn/n/1dc6>

■ウランバートル市役所公式サイト

<http://www.ulaanbaatar.mn/Home/newsdetail?dataID=33359>

<http://www.ulaanbaatar.mn/Home/newsdetail?dataID=33370>

<http://www.ulaanbaatar.mn/Home/newsdetail?dataID=33449>

■GOGO.MN

<http://news.gogo.mn/r/228625>

<http://news.gogo.mn/r/228984>

<http://news.gogo.mn/r/229050>

<http://news.gogo.mn/r/229305>

■NEWS PRESS

<https://newspress.mn/v1/p/news/5597>

■MONTSAME News Agency

<http://www.montsame.mn/read/96521>

■Mongolian National Broadcaster

<http://www.mnb.mn/i/148917>

■Lag.mn

<http://lag.mn/news/article208946/>

■FRANK&MORRIS通販サイトのニュースにて紹介

<https://frankandmorris.stores.jp/news/5b7a244b5496ff7b70002363>

■Facebookで話題になっている投稿

<https://www.facebook.com/EnduranceManagementTK/photos/a.127337681245341/254603948518713/?type=3&theater>